

CDP サプライヤーエンゲージメント評価において 最高評価「SEA リーダーボード」に選定

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:久井 大樹/以下、当社)は、環境分野の国際的な非営利団体 CDP(本部:英国)*1 が実施する 2025 年の「サプライヤーエンゲージメント評価(SEA:Supplier Engagement Assessment)*2」において、最高評価となる「SEA リーダーボード」に当社として初めて選定されました。

「サプライヤーエンゲージメント評価」は、企業がサプライチェーン全体で気候変動課題にどのように対応し、効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するもので、最高評価を獲得した企業が「SEA リーダーボード」に選定されます。なお、2025 年は世界で約 2,000 社(うち日本企業約 400 社)が選定されました。



当社グループは、持続的な成長に向けて優先的に取り組むべきテーマとして、「脱炭素社会の推進」を含む 6 つのマテリアリティを特定しています。これらのマテリアリティに基づき、2050 年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

また、当社グループは気候変動への対応を中長期的な経営戦略の中核に位置づけ、「カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画(以下、移行計画)*3」を策定・開示しています。移行計画の実行にあたっては、自社の取り組みにとどまらず、サプライチェーン全体での実効性ある対応が不可欠であるとの認識のもと、サプライヤーの皆さまとの対話・協働を重視しています。

こうした移行計画を軸としたサプライヤーエンゲージメントの取り組みが評価され、今回の最高評価である「SEA リーダーボード」への選定につながったものと考えています。

当社グループは今後も、サプライヤーとの協働を通じた気候変動対応を着実に進めるとともに、取り組みの透明性を高める情報開示の充実を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- *1 世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体
[CDPについて - CDP](#)
- *2 2025 サプライヤーエンゲージメント評価
[Supplier Engagement Assessment - CDP](#)
- *3 カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画
https://www.mitsubishi-hc-capital.com/sustainability/environment/carbon_neutral/index.html

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、国内外で 8,000 名以上の従業員を擁し、主に法人向けにさまざまな機器・設備・車両や航空機・海上コンテナ・鉄道貨車などを対象として、世界 20 カ国以上でリース・ファイナンス事業を展開、さらに、不動産再生事業や再生可能エネルギー事業などに事業領域を拡大しています。これらのビジネスを通じてお客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002

以上